

1. 年頭のあいさつ (会長 今井 和男 記)

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎え、心からお慶びを申し上げます。

昨年は、会の運営活動につきまして、ご協力ご支援を頂き、厚くお礼を申し上げます。

一年間を振り返って見ますと、会員の高齢化に伴う活動の一部を休止しました。エコアップと維持管理が中心ではなかったかと思えます。

なかでも、次の活動は特筆と思えます。

- ・会報100号記念冊子の作成については、各公共団体から大変に好評がありました。各編集委員のご努力に敬意を表します。
- ・自然観察隊の活動の休止による会員の「大人の観察会」の実施は、会員の勉強になり好評でした。
- ・見学者への対応について、前年に比して多数の見学があり、好評の声を受けました。
北九州市環境課、外5団体
- ・各協力団体との連携については、「宇部市地球温暖化対策ネットワーク」「宇部地域環境パートナーシップ」との共催活動を実施しました。

また、会の運営活動につきましては、「県環境生活部環境政策課」「宇部健康福祉センター環境課」の指導に伴い、明るい見通しが感じられるようになったと思えます。

- ・地権者と「宇部健康福祉センター」との話し合い
- ・NPO法人「宇部環境コミュニティ」の傘下での活動

本年は過去の活動を反省しながら、会の運営活動がNPO法人の傘下での活動と考えられます。

したがって、「ビオトープ」のコンセプトを念頭に可能な限り、諸活動の充実を図りたいと思えます。

最後に「里山ビオトープ二俣瀬」の色々な発展と、会員の皆様方のご多幸とご健勝を祈念し、年頭のあいさつといたします。

2. 活動報告 (事務局 記)

—1月05日(水) 山口県環境政策課及び宇部健康福祉センターとの、今年第一回目の土地問題の協議会が当会3役との間で協議されました。

—1月15日(土) 初集会被開催されました。23名の出席でした。詳細は会からの連絡事項を参照ください。

決議の一部稲作の再開で田んぼの水を抜き、圃場の耕作準備に入りました。

3. 今後の予定（事務局 記）

◎ 見学者

予定はありません

◎ 行事

- 2月 3日（木）9時より【ダムの郷】にて二俣瀬地区会員参加稲作詳細協議
- 2月 6日（日）維持活動（修復とエコアップ）
- 2月13日（日）17時より【山大工学部】にて市街地域会員参加観察隊活動詳細協議
- 2月19日（土）維持活動（修復とエコアップ）
- 2月27日（日）エコ仲間の集い参加（常盤湖水ホール）
- 3月 6日（日）宇部市地球温暖化対策ネットワークのカーボン・オフセット「CO2吸収減の森づくり植樹祭」に共催で協働作業（亀浦公園）

4. 来訪者の声（東屋のノートより一部抜粋）

ノートの記載はありません

今月はありません

5. 会員の声

里山ビオトープづくりと二俣瀬ふれあい広場 （吉本 正会員）

皆様明けましてお目出とうございます。本年もよろしく申し上げます。昨年は二俣瀬を少しでも元気にしようと、ふれあい広場づくりに追われ、活動にあまり参加できず、すみませんでした。

振り返ってみますと、10年前二俣瀬に多くの人に来てもらえるような場所づくり、をしようと里山の再生、環境浄化等をコンセプトにビオトープづくりに取り組み、議論し又山で木を堀り竹を切り、川で石を集めた思い出が今も残っています。

その時実現はしませんでした但他的議題として、厚東川河川敷でのフリーマーケットの開設、子どもたちの体験の場カヌー基地の建設等も議論した記憶もあります。

今回の二俣瀬ふれあい広場づくりも、二俣瀬の中心部からスーパーマーケット、レストラン、ガソリンスタンド等が相次いで撤退し、地区全体の雰囲気も停滞気味となって来ました。

そこでこのような状況を打開しようと、二俣瀬ふれあい広場をつくる会を発足させ、地元野菜の販売所の充実、二俣瀬のたまり場を開設し二俣瀬の食材を使用した食事の提供、会合、懇談の場所づくりを国の助成金、地元の大勢の皆様の募金でつくりあげました。

昨年11月に竣工し、野菜売り場は毎日営業、たまり場“ダムの郷”は食事中心に営業を始めています。二俣瀬のお母さん方が、二俣瀬の食材を使い心をこめて作る食事を是非ご賞味ください。

おいでませ “ダムの郷” おいでませ “里山ビオトープ”！

6. ビオトープ関連 (ビオトープのトンボたち) (管 哲郎 記)

(32) オナガサナエ (サナエトンボ科 オナガサナエ属)

Onychogomphus viridicostus (Oguma)

中型のサナエトンボですが雄の尾部に特徴があります。写真のように太くてまるでフォークのような先端部 (尾部付属器) が特徴です。日本特産種で本州, 九州, 四国に分布しますが, 九州南部地方や東北地方では生息地が限定されるようです。低山地や平地の河川の中流部の清流に棲息し, 県内では6月ごろより羽化が始まり10月頃まで見られます。羽化は真夜中に行われますがまれに明け方より羽化する個体も見られます。午前1時~3時頃にはほぼ羽化を終えますが, 羽化を終えると直ちに光も無い真っ暗な空間を森の方に向かって飛び去ってゆきます。

下関市の木屋川, 山陽小野田市の厚狭川, 光市の島田川などでは, 羽化の最盛期に一晚で数百頭以上が羽化しますが, 羽化したのち山の中に入り人目に付くことなく生活しますので, 殆ど見かけることはありません。夏場では小高い山の頂上付近に見られますが, 8月~9月頃になると水辺付近に現れて縄張りをもち雌と交尾しますので, 瀬石などに休止する本種が見られるようになります。

厚東川では小野湖の上流, 東吉部~美東町小野付近で多くの羽化が見られます。荒滝川の合流部付近では, 6月の中旬頃には河川の瀬石の上に羽化殻が残っていますので下の写真を参考に探してみてください, 羽化殻の大きさは28ミリほどですので見つけやすいと思います。



オナガサナエ ♂



オナガサナエ ♀



♂の夜間羽化状況



上陸したヤゴ2頭



残された羽化殻

7. 会よりの連絡事項（事務局より）

平成23年【里山ビオトープ二俣瀬をつくる会】初集会

日時 平成23年1月15日(土) 9:00~12:15

場所 二俣瀬ふれあいセンター会議室 出席者23名

次 第

(1) 会長新年挨拶

(2) 議事

イ) ビオトープ地の確保経過報告

当会から出資100万円し残りは県・市に供出し宇部市が購入の形となる。

その他毎年活動維持費として従来通り10万円助成金として支給される

ロ) 宇部地域環境パートナーシップ会議からの案件

a、「エコ仲間の集い」2月27日湖水ホールに参加することになった。

・展示コーナー ・団体の活動紹介発表

ハ) 宇部市地球温暖化対策ネットから「植樹イベント」3月6日(日) 13時30分

4~5人イベントに参加することになった。 人選は追って調整する

ニ) 宇部環境コミュニティでの活動予定・今後は傘下としての活動になるが、従来どりの活動他コミュニティ内の活動も発生することになる。また当会の活動計画、結果等コミュニティに報告することになる。

2月5日 レンボンシビルケアに関根会員は大学側より・田村副会長は当会より参加されます。

ホ) 各種活動計画

a、田んぼの作付に係る環境教育 今年稲作をすることになりました。これは2月3日9時【ダムの里】にて二俣瀬の会員だけで詳細を決めることになりました。

b、観察隊(こども・おとな)に係る環境勉強会 継続観察隊を行うことになりました。

2月13日 山大工学部関根教室にて、管会員リーダのもとに市街の会員が主体で計画を立てることになりました。

c、以下の2件は今年総会での活動計画で記載します。

5月初め遊ロードの整備と須賀河内川の芦刈整備を行う計画

他ビオトープの維持管理は特にエコアップと田んぼの稲作も大きな作業となる。

水車の補修や水車水路の修復活動も計画として挙げなければならないため毎回多数の参加をよろしくお願いします。

へ) その他

観察隊と維持活動は併せて実施することも考慮してください。

8. 編集後記

今年5月に育休を終えて職場復帰の予定でしたが、この冬は二人の子どもがひっきりなしに風邪などの病気になり、毎日の病院通いなど、私自身身体的にこれからの仕事との両立に自信がないなど、2年間育休を延長させて頂くことにしました。収入が格段と減ってしまうので、これから節約の日々ですが、我が子の成長を日々間近に見ることもできるので、うれしいです。昨年は出産等でなんだかあっと言う間に過ぎてしまいました。でも今年は家中の物を整理処分して、ぜったいにすっきりしよう！！と思います。子どもの物はごちゃごちゃでも仕方ないですが、大人の物は本当に必要な物に厳選しよう…。好きな植物や生き物の本なども他と混ざって今はわけが分かりませんが、すっきり整理し、子どもが寝た後は私の時間、ゆっくり眺めて過ごしたい…。今年目標です。

(大野 靖子 記)